

慶應義塾大学医学部発 ベンチャー協議会のご紹介



<https://ventures.med.keio.ac.jp/>

- 医療分野における国際競争力上の課題と大学の果たすべき役割
- 慶應義塾大学及び医学部の強み
- 慶大医学部発ベンチャー協議会の概要











- 医療分野における国際競争力上の課題と大学の果たすべき役割
- 慶應義塾大学及び医学部の強み
- 慶大医学部発ベンチャー協議会の概要


日本企業は姿を消した中、米国企業躍進の中心的役割を果たしたのが大学、そしてそこから起業した科学者・技術者・学生たち。

1989年



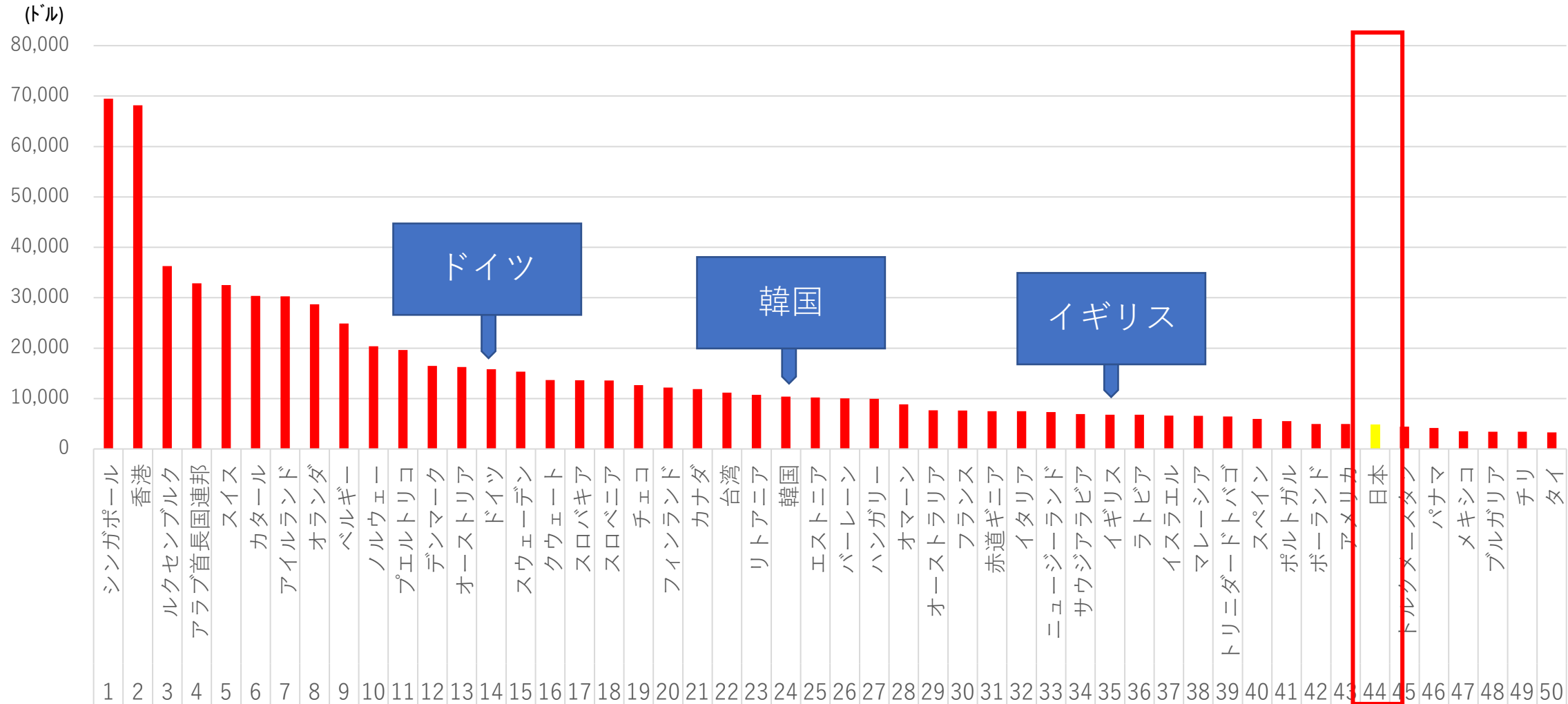
2019年

	企業名	(10億ドル)
	NTT	163
	日本興業銀行	71
	住友銀行	69
	富士銀行	67
	第一勧業銀行	66
	IBM	64
	三菱銀行	59
	エクソン	54
	東京電力	54
	ロイヤル・ダッチ・シェル	54

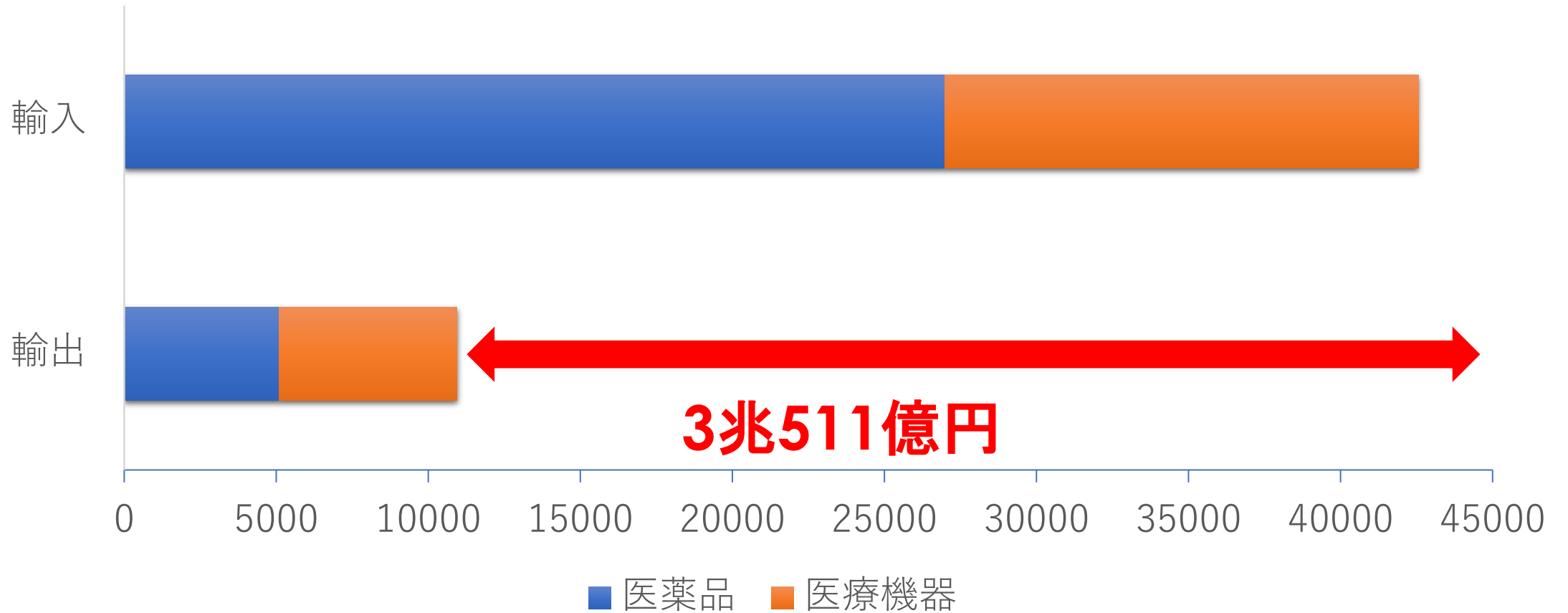
	企業名	(10億ドル)
	マイクロソフト	948
	アマゾン	874
	アップル	806
	アルファベット	767
	フェイスブック	507
	パークシャー・ハザウェイ	485
	テンセント・ホールディングス	403
	アリババ・グループ・ホールディング	384
	ジョンソンアンドジョンソン	348
	JPモルガン・チェース	344

1人当たりの輸出額ランキング (2015年)

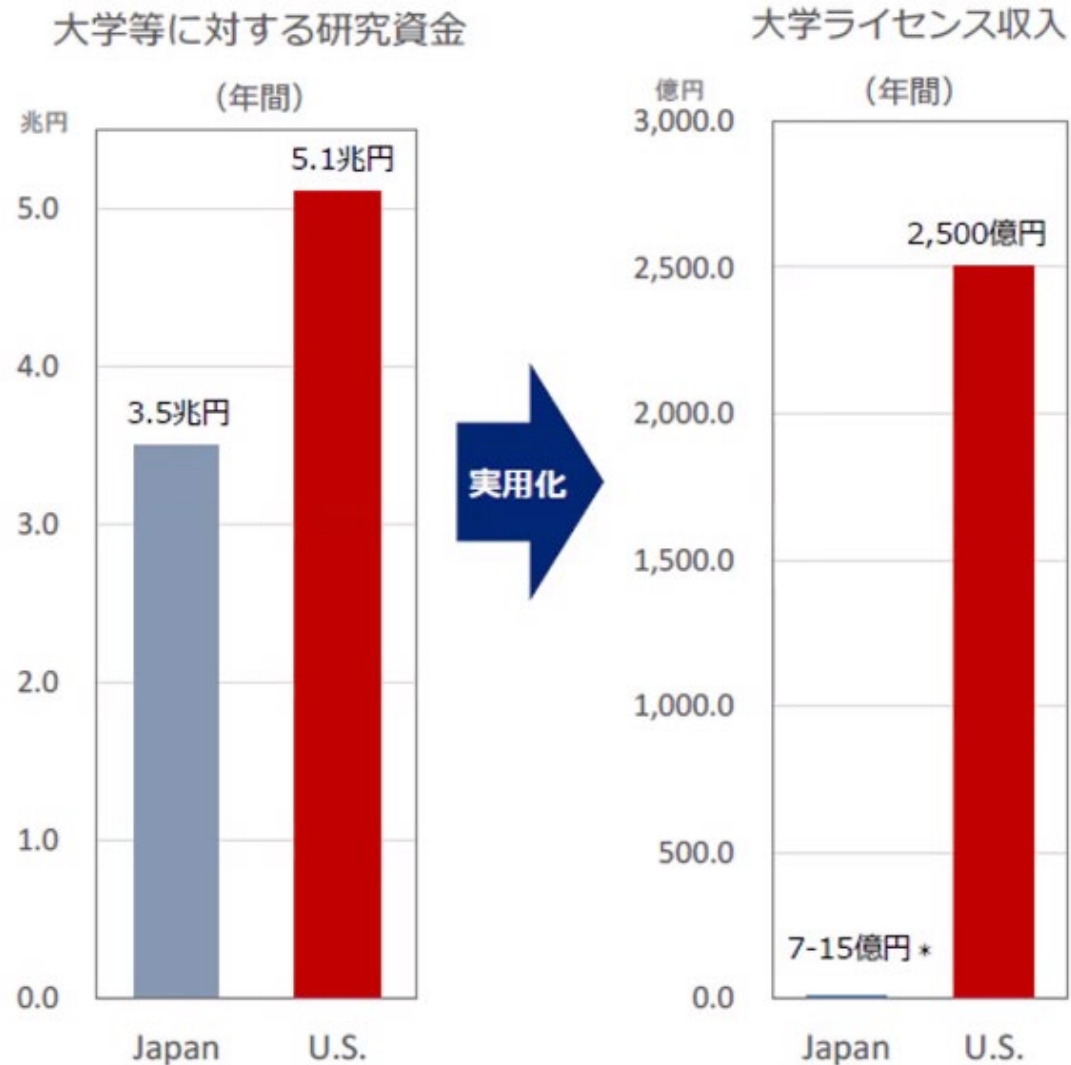
日本市場が想定的に縮小する中、日本は海外に通用する製品・サービスの創出力が低い



医薬品に分野においても同様に、現在2兆円、医療機器と合わせて3兆円の外貨が流出。

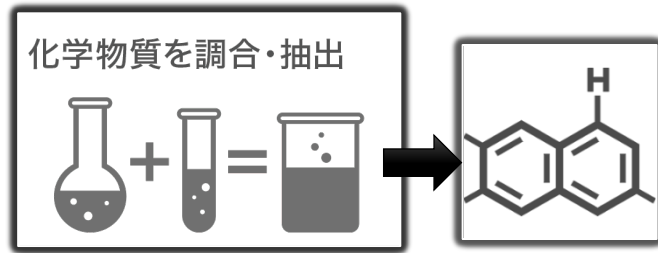


日本は研究成果の実用化がうまく進まず、大学のライセンス収入は米国の40分の1程度。

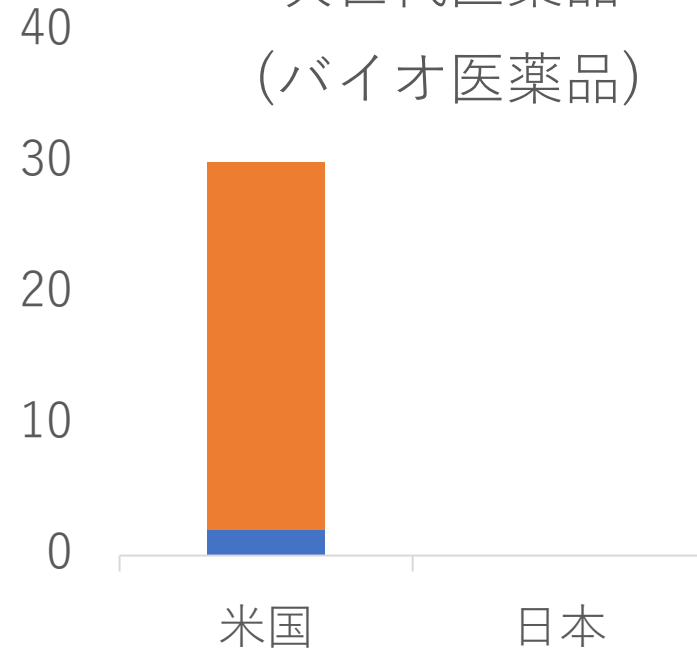
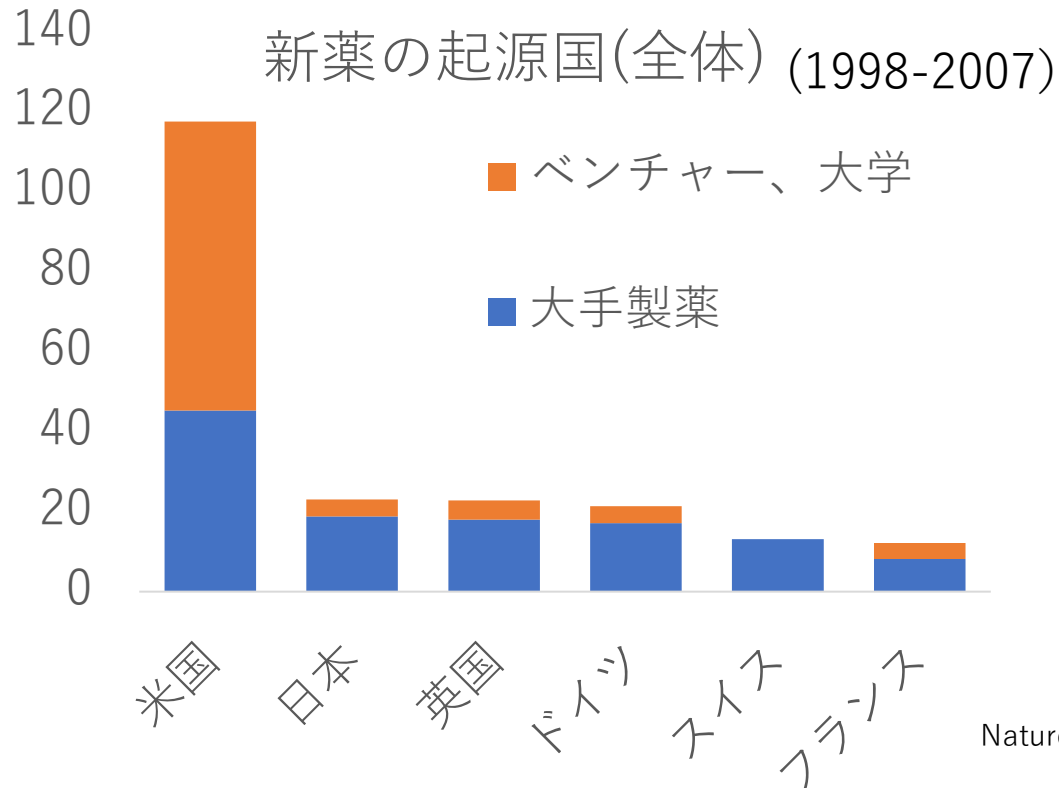
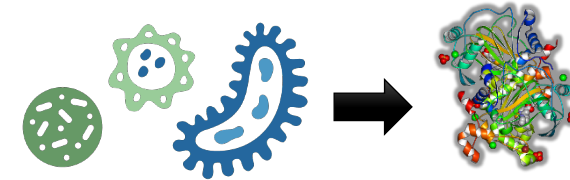


2018年の日本の大学の
ライセンス収入は約59億円

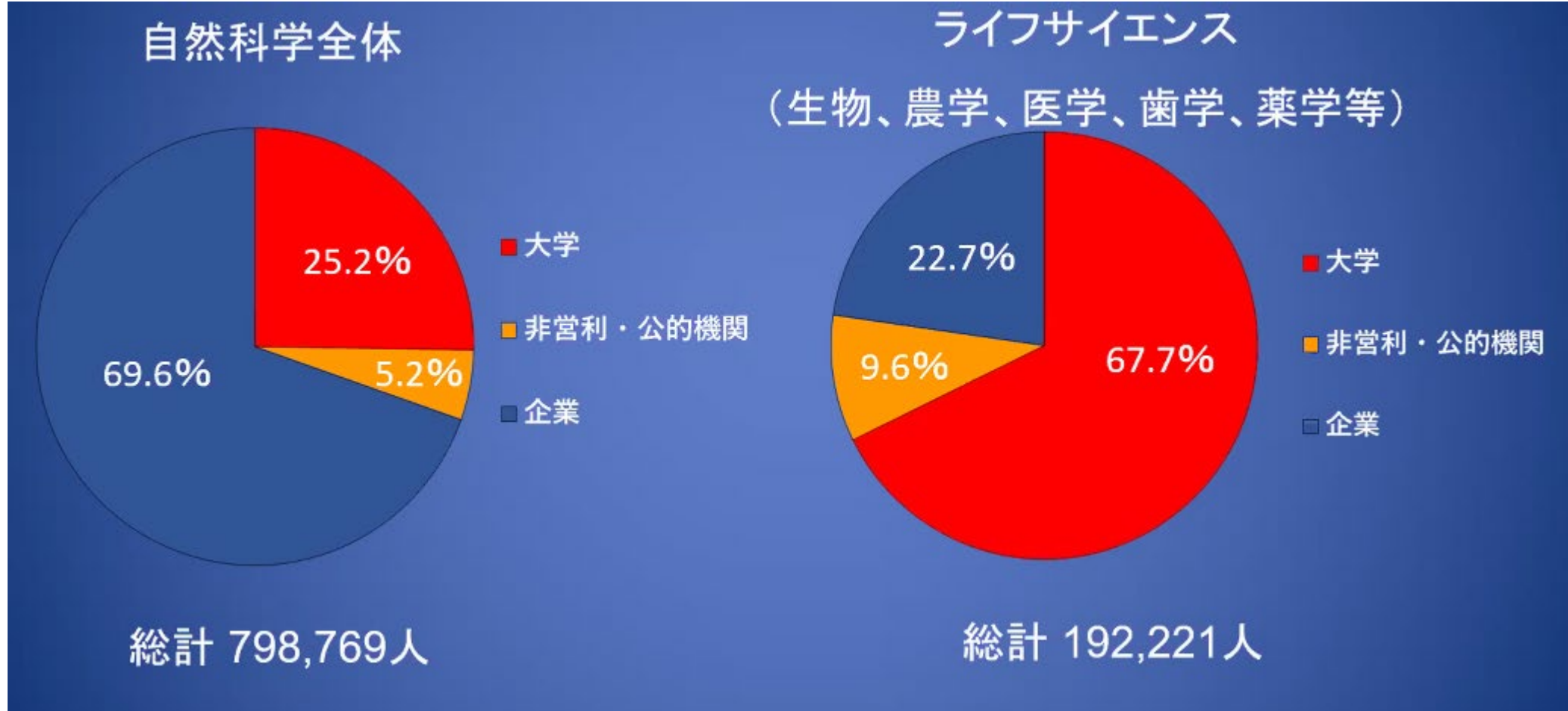
ダントツに新薬を創出しているアメリカは、半分以上がベンチャー及び大学が起源。バイオ医薬品ではさらに顕著で、現在もこの傾向は加速。



微生物や細胞内で合成



日本ではライフサイエンスの研究者の7割が大学に所属。



大学は教育研究だけでなく、その成果を提供して社会の発展に寄与することが責務に

昭和二十二年三月三十一日 法律第二十六号

改正 平成十九年六月二六日 法律第五〇号

第9章 大学

第83条

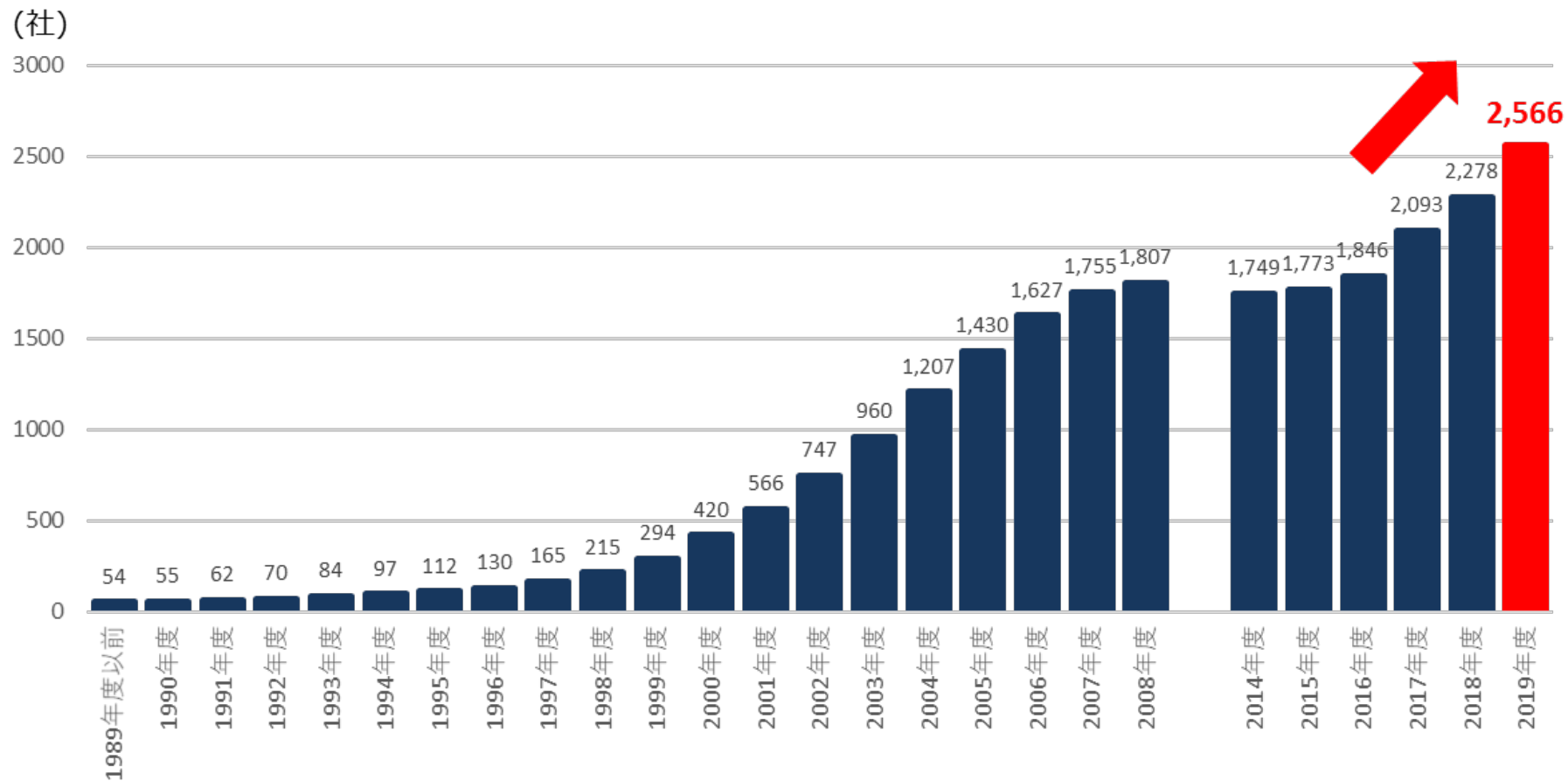
1. 大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。

—研究と教育—

2. 大学は、その目的を実現するための教育研究を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

—イノベーション—

大学発ベンチャー設立数は増加している



- 特に医療分野における国際競争力上の課題と大学の果たすべき役割

- 慶應義塾大学の強み

- 慶大医学部発ベンチャー協議会の概要

私立No.1総合大学として強固なネットワークを海外・国内に有する

Keio's Assets



日本最古の私立総合大学であり時代をリードしてきた慶應義塾。常に世界を見据えた学問を実践してきました。



370,000+

世界を舞台にあらゆる分野で活躍する37万人を超える卒業生。卒業生同士の強い絆とネットワークが、慶應義塾の何より大きな財産です。



9th

就職に強い大学の一つであり、世界的な大企業トップの輩出大学ランキングでも世界第9位になりました。
※2013 Times Higher Education



臨床研究中核病院
全国12病院のひとつ

Keio's Achievements



No.1

科学研究費 1位 (私立大学)

私立大学最大の規模となる32億円以上の科学研究費を政府から受給しています(2016年度)。

女性教員ランキング 1位

常勤の女性教員は279名で、日本の大学で最多でした(2016年度)。

公認会計士/司法試験合格者数 1位

公認会計士試験の合格者数は157名、司法試験は144名で1位でした(2017年度)。

一部上場企業の社長数 1位

慶應義塾大学出身の、日本の一部上場企業の社長数は180名で、日本1位でした(2018年4月)。

世界大学ランキング:日本の私立大学1位

QS World University Rankings 2019において、日本の私立大学1位を獲得しました。

日本の大学ランキング:日本の私立大学1位

THE 世界大学ランキング 日本版2018において、日本の私立大学1位を獲得しました。

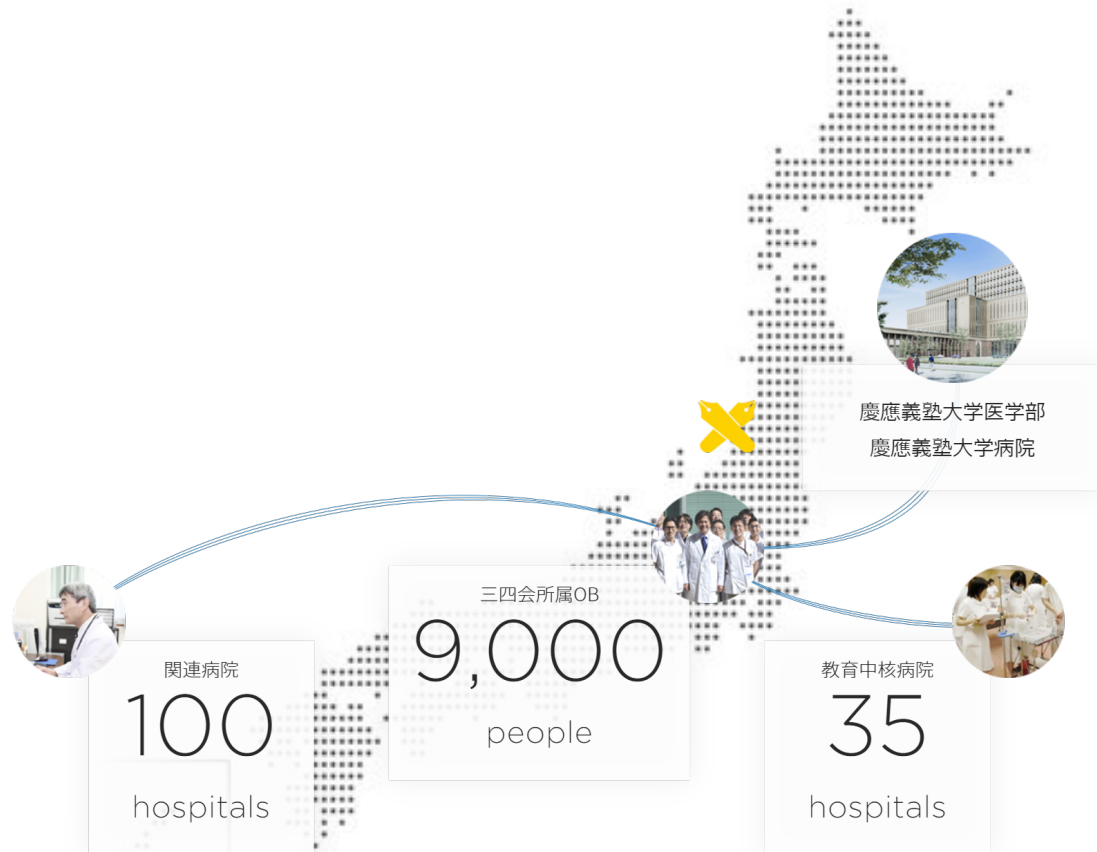


国内卒業生ネットワーク
(三田会) 約800



海外卒業生ネットワーク
(三田会) 約70

100年の歴史を背景に、9000人を超える慶應医学部OB、100を超える関連病院など圧倒的な医学・医療に関するネットワーク。多くの海外医系大学との交流を活発に行い、数多くのグローバルネットワークが存在。



在学中に留学
プログラムに参加する割合



1/3

グローバル志向の結果がNatureなど権威ある
海外研究誌への数多くの論文発表へと繋がっている

臨床研究、がんゲノム、AI、再生医療をはじめ、産学連携を通して革新的な医療技術を創出する中核ミッションを担っている

メディカル・ヘルスケア領域



・臨床研究中核病院 (13 病院)

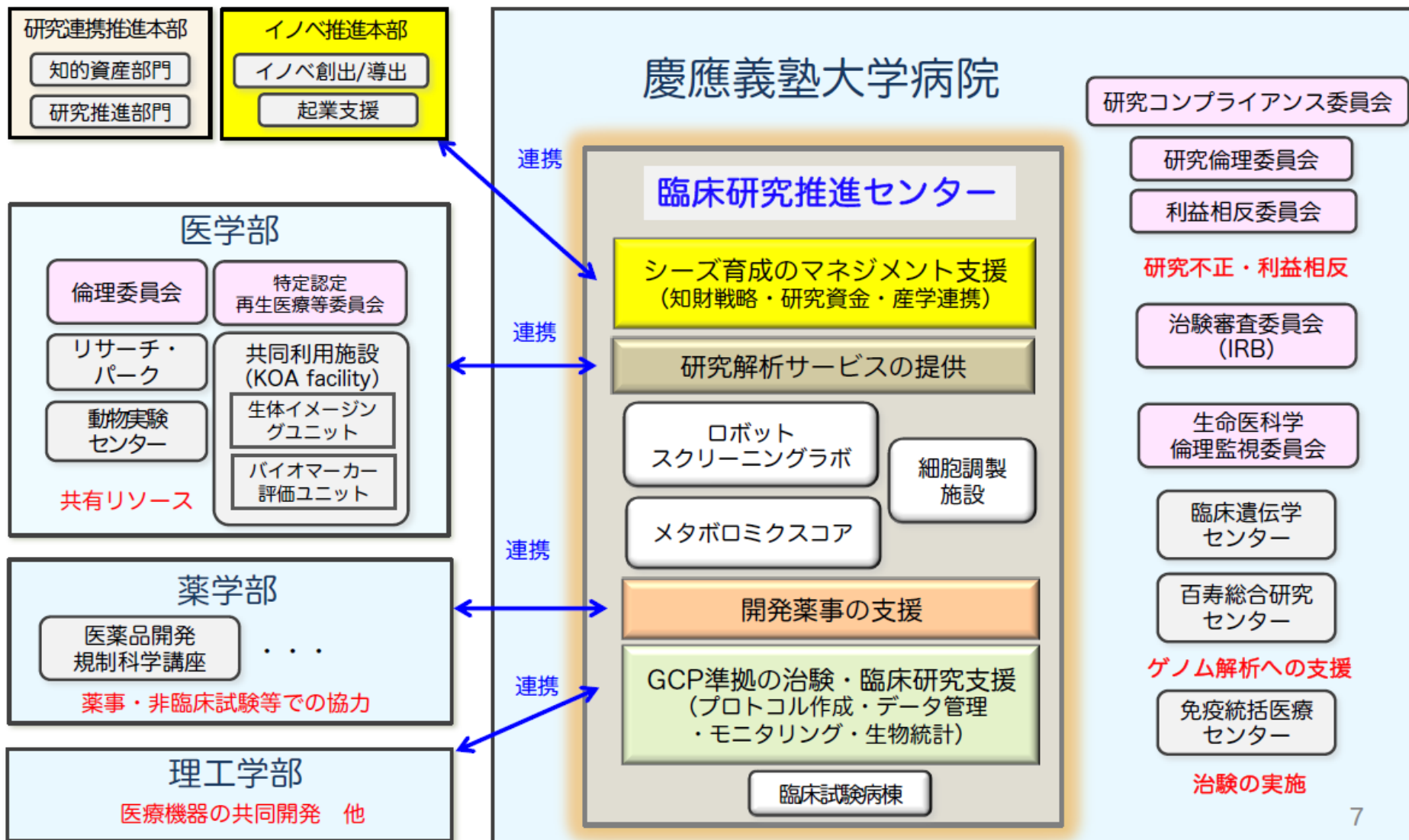
・革新的医療技術創出拠点 (15 病院)

・がんゲノム医療中核拠点病院 (11 病院)

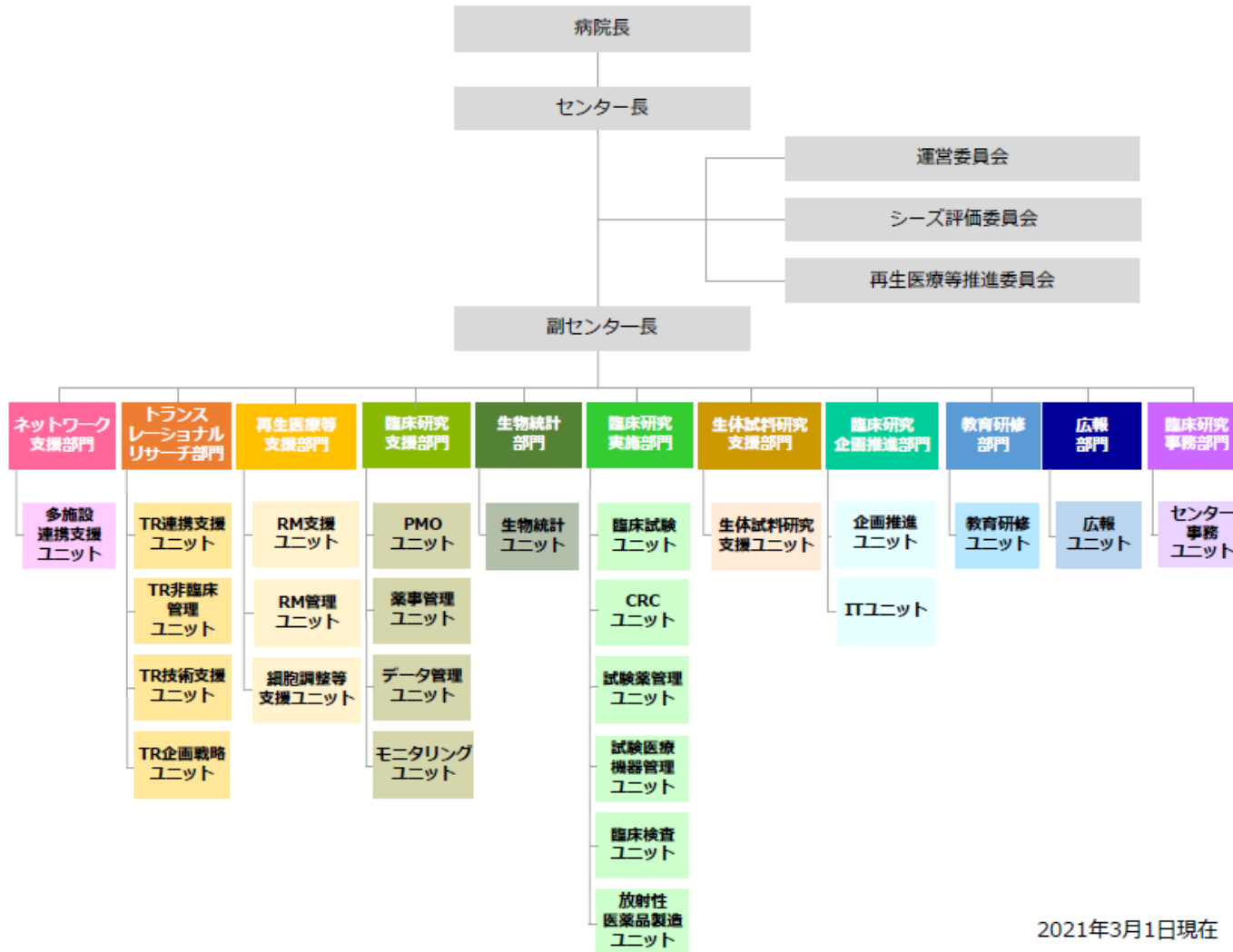
・AIホスピタル (4 病院)

・再生医療臨床研究モデル病院 (2 病院)

慶應病院内に臨床研究推進センターを構築。各組織と連携してシーズ育成のマネジメントを支援



医師主導および企業治験の実施のみならず、基礎研究・非臨床試験段階の研究シーズの迅速な臨床試験入りも支援。
iPS細胞をはじめとする再生医療にも注力



TR部門、シーズ評価委員会は外部のシーズも評価し、社会実装に寄り添っていく

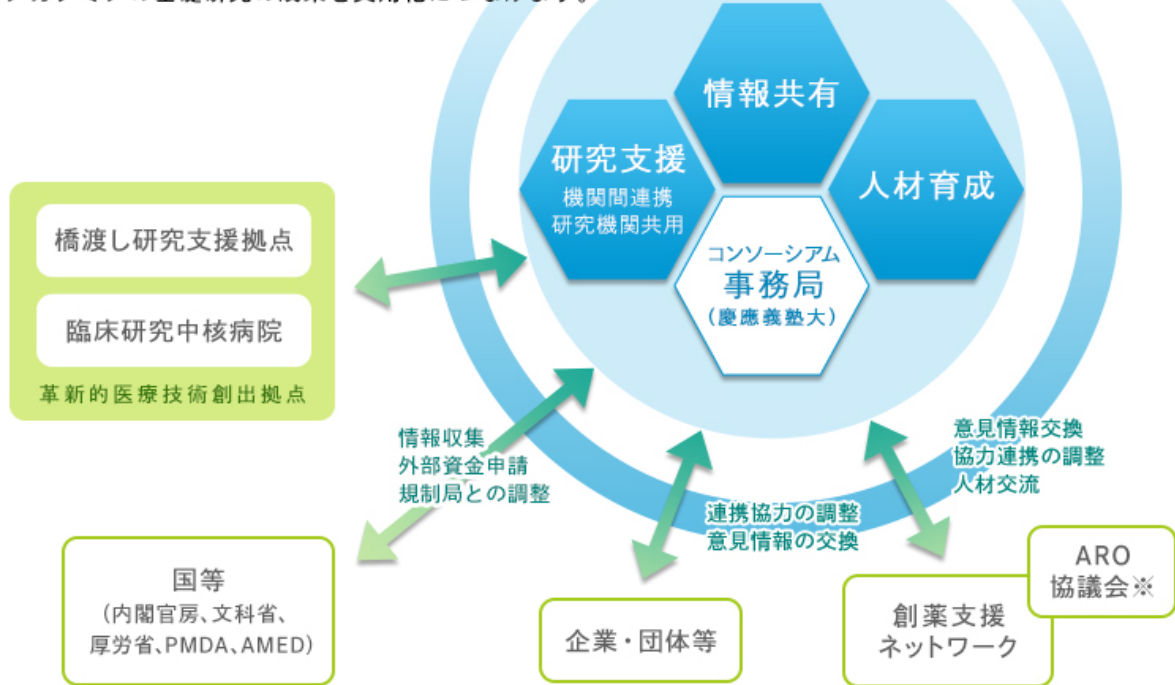
2021年3月1日現在

慶應がマネジメント機関としてMARCをリードし、多くのシーズが集まるHot Spotになっている

首都圏ARコンソーシアム

Metropolitan Academic Research Consortium

日本発の革新的な医薬品・医療機器を医療現場に届けるために、
首都圏の私立大学をはじめとする臨床研究機関が連携・協力関係を結び、
アカデミアの基礎研究の成果を実用化につなげます。



※ARO協議会 Academic Research Organization 協議会

構成機関

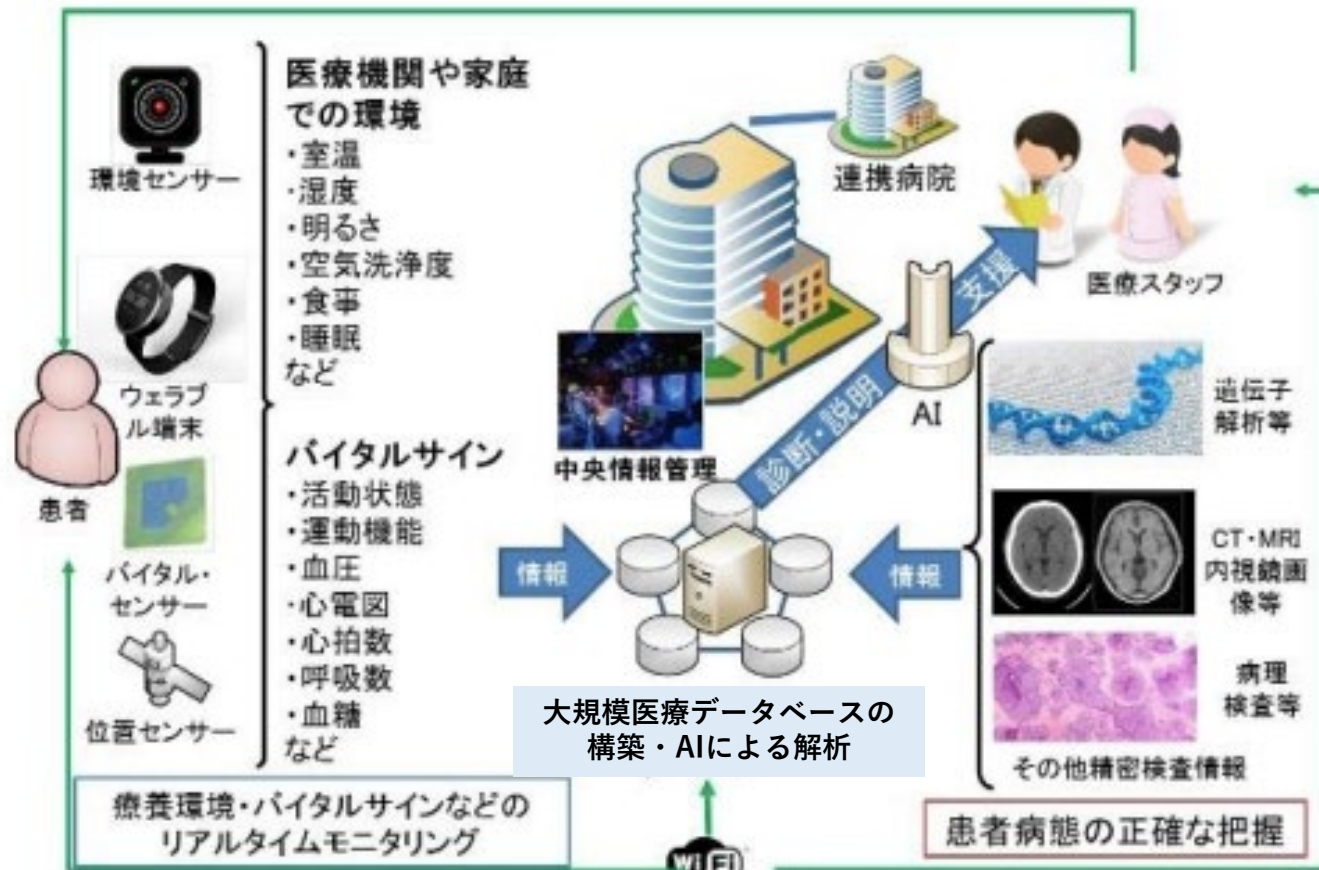


シーズ支援 (2019.5)

- ・ シーズ A 53件 (拠点外 28件)
- ・ シーズ B 47件 (拠点外 16件)
- ・ シーズ C 30件 (拠点外 5件)

シーズA: PoC前～シーズC: 臨床ステージ

医療機器やIoT機器を活用して患者情報の網羅的収集、ビックデータ化に加え、AI分析技術を活用して「AIホスピタル」の開発・構築・実装化を図り、医療現場での診断補助・教育やコミュニケーション支援を行う
(慶應大学病院、大阪大学病院、成育医療センター、がん研有明病院)



大量の医療情報を治療に有効に活用し、先進的かつ最適化された医療サービスを提供できる体制を整備

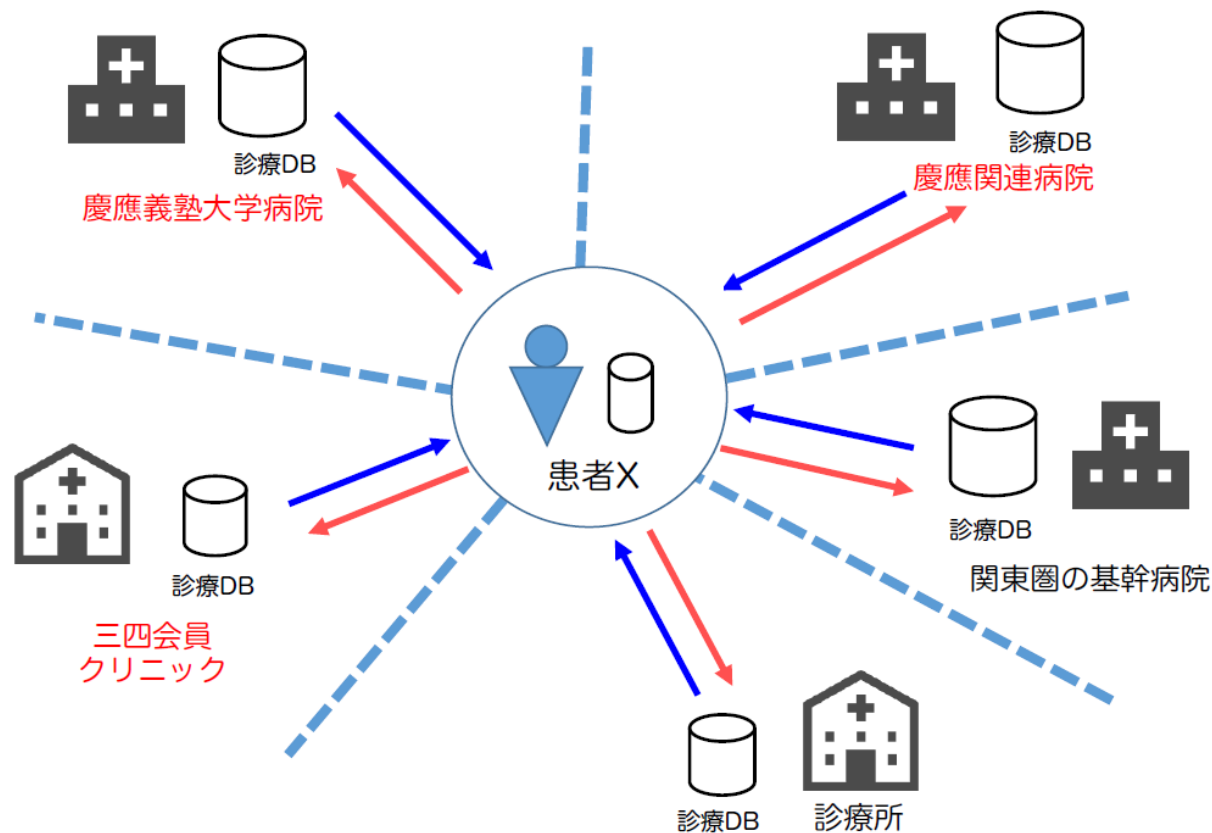


超高齢社会における

- 医療の質の確保
- 医療費増加の抑制
- 医療分野での国際的競争力の向上
- 医療現場での負担軽減

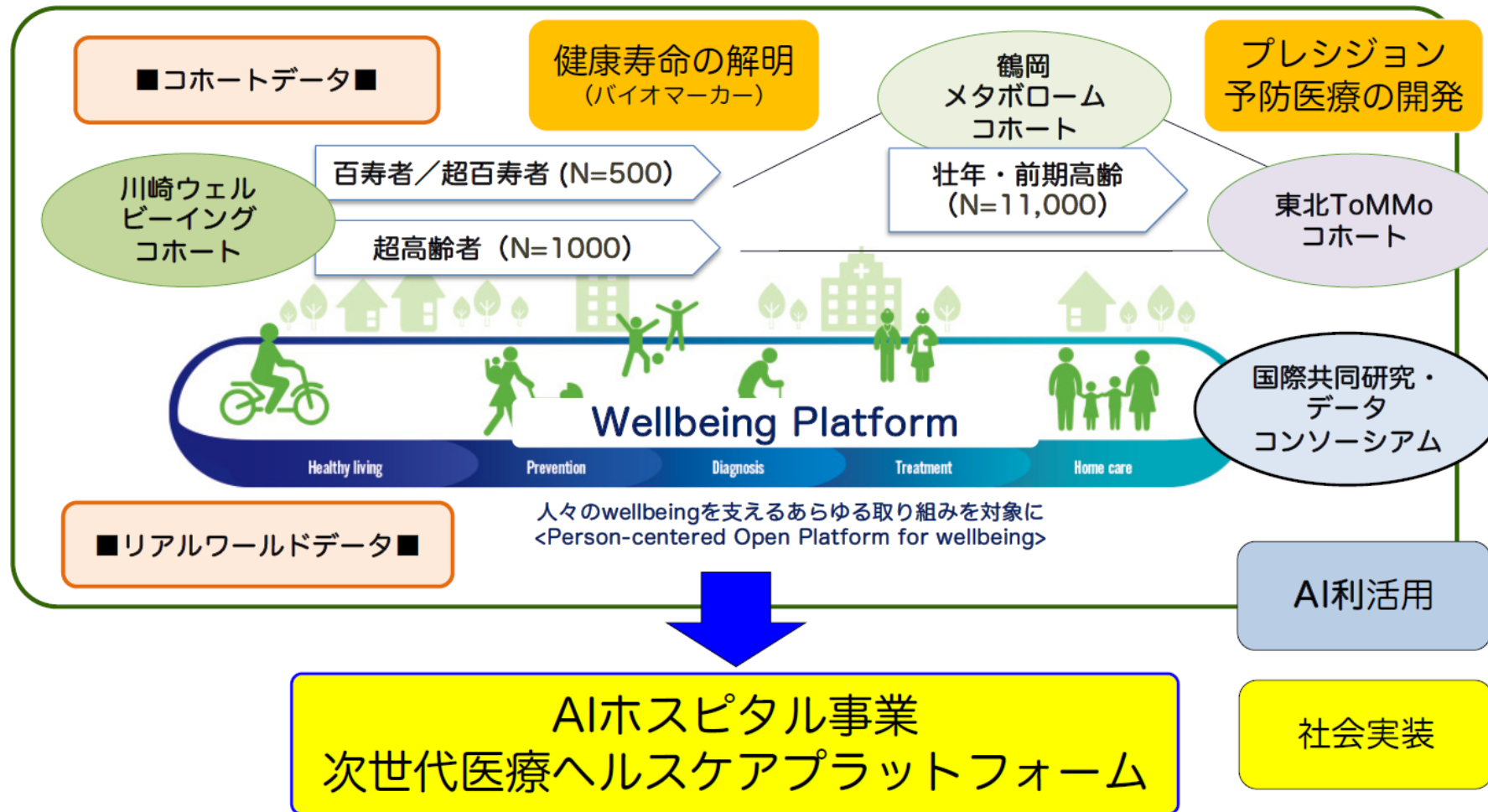
- 音声を用いた医療記録入力システム
- 患者医療情報統合システム
- 患者向け情報提供スマートフォンアプリ
- 高性能ベッドセンサを用いた入院患者のリアルタイムモニタリングシステム

患者情報統合システムを活用し慶應メディカルネットワークの構築を開始

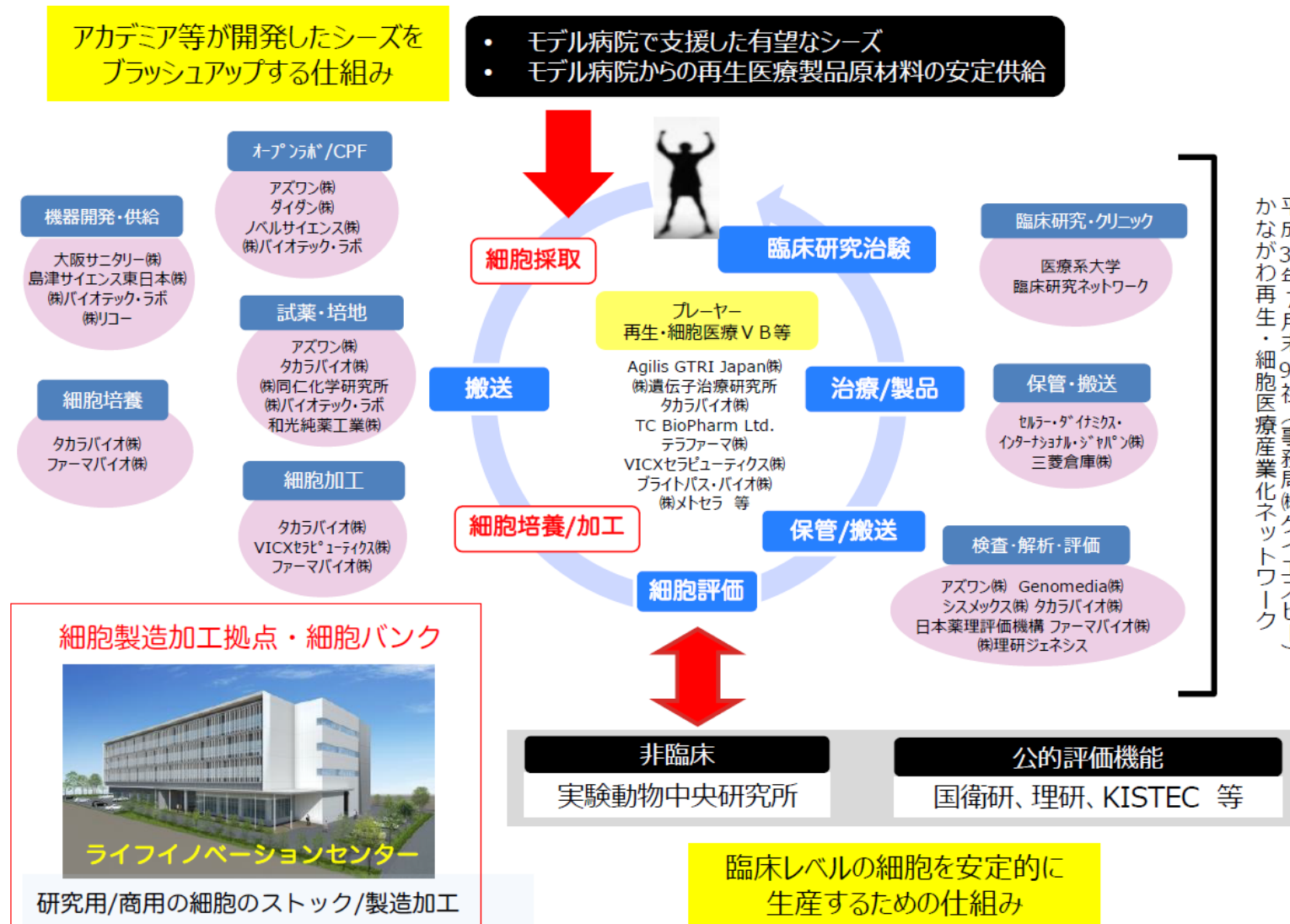


個人が自己医療情報管理の主体となり、情報の完全な管理と治療方針の決定権を持つ医療システムへの改革

超高齢者のゲノム情報などを活用し、次世代の医療ヘルスケアプラットフォームを構築する



再生医療は大きなターニングポイントを迎えている。骨太のシーズを社会実装するためのバリューチェーンを構築



慶應オープンイノベーション整備事業が2019年採択、医学部が中心となり慶應のイノベーション全体をリード。
産学連携の大型共同研究でエビデンスに基づいた高付加価値製品・サービスを産み出す。

人生100年時代の健康長寿を支える スマート社会の創成

what



全ての世代の人々が、
健やかで幸せに生きることができる社会の実現

why



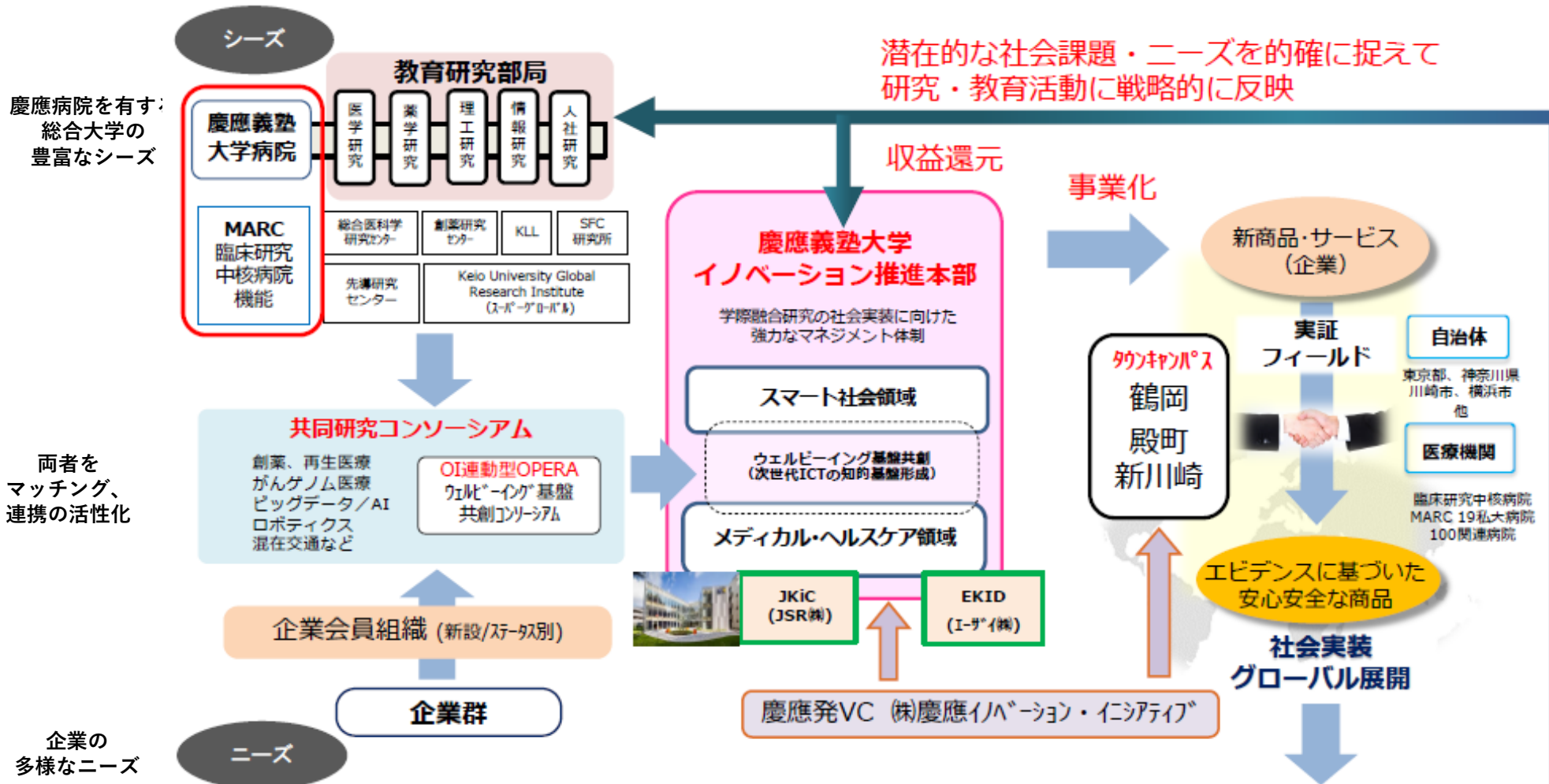
- 世界一の超高齢社会
- 科学的根拠 (エビデンス) に基づいていない商品やサービスの流通

how



産学連携大型共同研究を通じた、高付加価値型の、
安心・安全な商品やサービスの開発と普及により実現

慶應のシーズと企業のマッチングを強かに支援・推進し、社会実装を通して人生100年時代の健康長寿を支えるスマート社会の創成に向けたエコシステムを構築



- 特に医療分野における国際競争力上の課題と大学の果たすべき役割
- 慶應義塾大学の強み
- 慶大医学部発ベンチャー協議会の概要と目指すところ

ミッション

慶應義塾発のイノベーションを推進し社会貢献する

ビジョン

医学部から **100** 社のベンチャーが **IPO** することを応援する

日本発の医療イノベーションの推進

医学部発ベンチャー企業の発展に関する情報共有

ヒト：人材採用・育成

モノ：知財戦略、開発薬事戦略、事業開発

カネ：資金調達、IPO

- スタートアップセミナーの開催（年3回）
 - ✓ 旬のスタートアップ経営者等による講演会参加・ネットワーク構築
- 東証見学イベント（年1回）
 - ✓ IPOの仕組みを直接学ぶ
- 会員企業同士での情報交換（年1回の総会をはじめ随時）
- アントレプレナー修士課程 Web公開講座・起業相談の提供
- 慶應医学部関係の講演会・イベント等の協賛
- 健康医療ベンチャー大賞の協賛
- 中高生への啓発イベントの開催



第5回 スタートアップセミナー

開催日: 2021年2月17日(水) 18:00-20:30
ビデオ会議ツールを使用したオンライン開催 **参加無料**

プログラム

開会の挨拶	慶應義塾大学医学部発ベンチャー協議会代表 株式会社坪田ラボ 代表取締役社長 坪田一男
18:00-18:05	
I. 「キャリアドリフトとしての共同創業」	
18:05-18:30	鈴木晋 株式会社 CureApp 取締役最高開発責任者(CDO)
18:30-19:30	入山章栄 早稲田大学大学院経営管理研究科 早稲田大学ビジネススクール教授
質疑応答・ディスカッション	
19:30-19:55	参加登録時に事前のご質問も受付させていただきます。
閉会の挨拶	慶應義塾大学理療器内科教授 Heartseed 株式会社代表取締役社長 福田恵一
19:55-20:00	
オンライン懇親会	
20:00-20:30	オンラインの利点を生かした懇親会ができればと考えております。ぜひご参加ください！

参加登録はこちら
<https://www.keio.ac.jp/ventures>

主催: 慶應義塾大学医学部発ベンチャー協議会
共催: 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター
HP・お問い合わせ: <https://ventures.med.keio.ac.jp>

設立：2019年5月22日

代表：坪田一男（慶應義塾大学医学部名誉教授、株式会社坪田ラボ代表取締役CEO）

会員企業数 15社

特別会員(上場済企業)：サンバイオ、窪田製薬ホールディングス

協賛会員 慶應イノベーション・イニシアティブ、あずさ監査法人

後援 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター



世界最先端のサイエンスに基づく15社が会員。

	社名	事業領域	出身教室	設立
幹事 会員企業	(株)坪田ラボ	創薬、バイオ、医療機器等	眼科学	2015年2月
	Heartseed(株)	再生医療	循環器内科	2015年11月
	(株)ケイファーマ	創薬、再生医療	生理学・整形外科	2016年11月
一般 会員企業	(株)セルージュン	再生医療	眼科学	2015年1月
	(株)AdipoSeeds	再生医療	血液内科	2016年7月
	(株)OUI	診療デバイス	眼科学	2016年7月
	(株)レストアビジョン	再生医療	眼科学	2016年11月
	Grace imaging Inc.	スポーツヘルスケア	整形外科	2018年7月
	(株)イー・ライフ	睡眠	薬理学	2018年10月
	Agross Therapeutics Inc.	抗アクアポリン抗体	薬理学	2018年11月
	(株)Luxonus	汎用撮影装置	解剖学	2018年12月
	(株)MatriSurge	生体医療材料	外科	2019年1月
	(株)Otolink	創薬・IoTヘルスケア	耳鼻咽喉科	2019年5月
	iMU(株)	医療機器デバイス	整形外科	2020年2月
	ALAN(株)	プログラム医療機器開発	生理学	2021年2月

既にサンバイオ、窪田HDが上場。将来を担う学生団体とも連携。
慶應イノベーション・イニシアティブ (KII) やあずさ監査法人も協賛会員として参画

特別会員(上場済企業)：サンバイオ、窪田製薬ホールディングス

協賛会員

- 慶應イノベーション・イニシアティブ、あずさ監査法人

後援

- 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

連携機関

- KEIO BIOTECH CLUB 医学部 3 - 6 年生 大学院生
- K-MICS 医学部 1・2 年生

年会費わずか3万円で多様なイベント、セミナーへの参加を通して有用なネットワークを構築できる

- スタートアップセミナーへの参加（年3回）
…旬のスタートアップ経営者等による講演会参加・ネットワーク構築
- 慶應医学部産学連携会などの協賛イベントへの参加
- 東証見学イベント（年1回）
…IPOの仕組みを直接学ぶ
- 会員企業同士での情報交換（年1回の総会をはじめ随時）
- 協賛会員からの情報提供やネットワークの構築
- 慶應教授陣とのネットワーク構築
- アントレプレナー修士課程 Web公開講座・起業相談の提供

世界最先端のサイエンスを事業化中の、慶應医学部発の会員ベンチャー企業とのビジネスチャンスに加えて、将来の起業家である医学部学部生・大学院生への浸透も図れる。

種別	幹事協賛会員	特別協賛会員	一般協賛会員	後援企業
期間	任期5年	1年更新	1年更新	1年更新
協賛会員の入会審査権	○	×	×	×
スタートアップセミナーへの参加・講演	○	○	○	参加のみ
スタートアップセミナーへの優先登壇権	○	○	×	×
メーリングリストでの告知	○	○	○	×
本協議会ウェブサイトやアニュアルレポートへの広告掲載	○	○	○	×
優先広告枠	○	○	×	×
会員企業とのビジネスチャンス	○	○	○	×
慶應医学部の各研究室、教授、准教授等とのネットワーク構築	○	○	○	×
年会費	80万円/年	30万円/年	10万円/年	無料

今後慶應義塾大学医学部発ベンチャー協議会を中心に
多くのライフサイエンス企業イノベーション人材が生まれます。

共にベンチャーエコシステムの醸成を担っていただける
協賛会員企業の皆様を募集しております！

お問い合わせ info@ventures.med.keio.ac.jp

